



## 一年の計は元旦にあり、では一生の計は…?

新年、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり、一生の計は少壮の時（若い時）にあり」という言葉があります。これらは、物事は何事も最初が肝心であるということのたとえです。また、古くは中国のことわざで、「一生の計は勤勉にあり」とされていました。つまり、人の一生の中で、若くて元気のよい時に「一生懸命に物事に励んでおくこと」が、将来、非常に大きな意味を持つということです。

中学生の皆さんにとっては、今、一生懸命に勉強や部活動に頑張ることが進路につながっていくのです。そんな皆さんに12月の浦島デーで講演していただいた竹内昌彦先生の言葉を贈ります。

多くの若者が進路に迷う。それはどの仕事にも、輝く部分と暗い部分があるからだ。プロ野球のスター選手も、テレビで注目されるタレントも、輝く部分は表に出ているけれど、彼らはその陰で、その何倍もの苦勞をしてきている。また、自分の目指す進路が見つかったとしても、多くの人々が、思う通りの進路へ進むことはできないのが現実である。私は盲学校の後輩たちにいつも次のように言うことにしている。

「思うようにいかないことはばかりだけれど、与えられた進路が不服であっても、愚痴を言う前に、とにかく全力を尽くして、一生懸命やってみることだ。どの仕事にも必ず輝く部分がある。全力を尽くして努力した者にだけ、その仕事のおもしろさと生き甲斐が見つかる。そして人が認めてくれる」

（著書「見えないから見えたもの」より）

3年生は今週から高校入試が始まり、いよいよ進路決定に向けての大切な時期を迎えます。また、2年生は詫中の最上級生になるための、1年生は良き先輩になるための準備を進めていきましょう。

## 2学期保護者評価の結果

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

1学期と比較してほとんどの項目で肯定的な回答が増えています。しかし、「相談できる先生がいる」や「総合点」では、「◎よい」が微減しており、まだまだ多くの課題があると受けとめています。信頼される学校をめざして、今後も一層努力してまいります。

